

JA農業資金における金利の弾力化運用

JAとまこまい広域では、組合員に選んでいただくことを目標として、他事業と連携し、JA一体となった農業資金の積極的な推進活動を行っており、その取組内容をご紹介します。

融 資



過去の低金利環境下において、JA資金をメインに考える組合員が減少

他事業の利用状況や資金使途等に応じた金利の弾力化運用を実施

組合員にJA資金を利用するメリットが伝わり、JA資金を選んでいただく機会が増加した

JA資金の利用促進に向けた戦略的な資金提案が必要と改めて認識。

低金利環境下において、より低利な他行資金等との競合により、JA資金をメインに活用する組合員は年々減少傾向にありました。JAとして、この現状に歯止めをかけるべく、戦略的な資金提案を行う必要があると認識しました。そこで、組合員のみなさんに改めてJA資金を第一に選んでいただけるような仕組みをJA一丸となって考え、金融部門を中心にその取組を実践していくこと

なりました。



JA資金の推進戦略として金利の弾力化運用を実施。

低金利下でJA資金を選んでいただくため、一定の条件を満たした場合、金利を弾力化する運用を開始しました。具体的には、経営状況やJAとの融資・貯金取引状況等に応じた優遇金利を設定しています。そのほか、農地取得資金に対する特別金利設定も行っています。農地取得資金は、比較的高額かつ借入期間が長い場合が多く、組合員の資金繰りに与える影響も大きいと認識しており、担保・保証に依存しない資金対応と合わせて、特別金利を活用することで、組合員の負担を少しでも軽減できるよう取り組んでいます。



今後も組合員のみなさんに選んでいただけるJAを目指す。

金利弾力化の実践により組合員の負担軽減に貢献することができ、結果として組合員のみなさんからJA資金を選んでいただける機会が増えたと感じています。厳しい農業情勢が続いておりますが、今後も組合員のみなさんをしっかりとサポートしていけるような取組を継続していきます。

JAとまこまい広域

事業内容

- メインとなる米は高品質・良食味生産地帯として「たんとう米」をブランド化
- ほうれん草は「東いぶり広域ブランド」として北海道外からも高い評価を受けている
- そのほか、酪農や麦、メロンなど多種多様な農畜産物を取り扱っている

Field Notes

農業機械導入などの投資意欲が高まっており、組合員に資金需要があることは把握できていた一方、低金利環境を背景に他行やメーカー系

ローンとの競争が激化しており、従来の一律な金利設定では組合員ニーズに十分に答えることが難しくなっていると感じていました。そこで、経営状況や取引状況を数値化した客観的な評価基

準を整備し、収益性とのバランスを考慮した優遇金利制度の創設を行いました。関係部門との連携など時間を要する部分もありましたが、制度創設後は「JAには金利引き下げにより後押し

してもらい、前向きに営農に取り組んでいける」といった声をいただくことができました。これを機にJAを選択する組合員が増えており、地域農業への金融支援強化に貢献できたと感じています。



金融共済部 融資課 担当者

「出向く」活動を通じた組合員とのつながり強化

JAきたそらちでは、組合員に選んでいただくことを目標として、「出向く」活動を通じた農業資金の積極的な推進活動を行っており、その取組内容をご紹介します。

融 資



課題

これまでの低金利環境下において、JA資金の活用をメインに考える組合員が減少

組合員の資金ニーズに合わせた資金提案の必要性を再認識

解決

主体的に組合員訪問を継続的にを行い、組合員との関係性を改めて構築

JA資金の新メニューを創設し、農業近代化資金とともに提案

地域に浸透していた「JA資金を活用する」という意識の薄れ。

低金利環境下において、より低利な他行資金等をメインに考える組合員が多くなっていました。そこには、営農相談時以外に組合員のみなさんとお話する機会が少なくなっており、JA資金を提案する機会が減少していることも関係していると感じ、組合員のみなさんとの関係性を再度強

化し、JA資金も含めた適切な資金提案を行うための取組みを進めていくことになりました。



組合員との関係性の再構築。対話を通じた中での適切な資金提案。

組合員のみなさんとお話する機会を増やすため、まずは「出向く融資課」体制を構築しました。担当者ミーティング等によりJA内の横のつながりを強化し、融資課主体の組合員訪問を継続的に行うことで、関係性強化と早期のニーズ把握を行いました。資金提案時は、JA資金の中でも組合員・JA双方のメリットが特に大きい農業近代化資金の活用を積極的に提案しました。また、農業近代化資金では対応できない農地取得に対しては、JAバンクの利子補給制度を活用し、他行の金利を意識した戦略的な金利設定を行ったほか、各組合員の借入内容に応じたシミュレーションも行うことで、より具体的な資金提案を行いました。



組合員のみなさんに選ばれ続けるJAを目指す
JAから積極的に訪問することで、組合員のみなさんとお話する機会が増え、JA資金の利用も増加しました。今回の取組みは、空知管内のJAの会議体で紹介しており、他のJAでも同様の取組みが広がっています。当JAだけでなく、他のJAとのつながりを継続し、今後も地域組合員のみなさんをサポートできるよう取り組んでいきます。

JAきたそらち

事業内容

- 道内有数のコメの産地で、「ゆめぴりか」「ななつぼし」「ふっくりんこ」などを栽培
- そばの作付け生産量全国一を誇り「幌加内そば」や「多度志そば」は全国的にも有名
- そのほか、メロンや花き、畜産、きゅうりなど多種多様な農畜産物を取り扱っている



Field Notes

「出向く融資課」を実現するべく、積極的に組合員訪問を実施しました。課題点として、農作業により在宅時間が限られており、面談時間の確

保が難しい場面が多く、訪問日時の調整に苦慮しました。しかし、一度の訪問で終わらせるのではなく、恒常的な巡回訪問を継続することで面談の機会を増やし、組合員との信頼関係の

構築に努めました。その結果、「来てもらえて相談しやすい」、「気軽に話ができて助かる」といった好評の声をいただくことができました。また、資金ニーズや営農状況をより詳細に把握できるように

なったことで、組合員一人ひとりの実情に応じた融資提案を行う機会に拡大につながりました。今後も継続した巡回活動を通じて、組合員に寄り添った対応を続けていきたいと思っています。



金融共済部 融資課 担当者